

魚津市定例記者会見 10月

日時：平成26年10月1日（水） 午後1時30分～

場所：市役所第一会議室

報道出席者：北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞社、朝日新聞社、
毎日新聞社、NHK、富山テレビ、KNB、チューリップテレビ、
NICE TV、ラジオミュー

市当局出席者：市長、副市長、教育長、企画総務部長、産業建設部長、民生部長、
企画政策課長

1. 市長からの説明事項

(1) 日本ジオパーク南アルプス大会（9/27～30 長野県伊那市で開催）

立山黒部ジオパークが認定証の交付を受け、正式に日本ジオパーク登録となった。富山県東部一帯がジオパークとして認定を受け、これから経済面や観光面で効果があることを期待している。魚津市でもかねてより魚津の水循環ということをテーマにしながらジオパークの事業を進めてきていたので、魚津の自然をどのような形でアピールするか検討していきたい。

(2) 魚津市総合防災訓練（9/28）

7月の豪雨災害を受けたあとの訓練ということもあり、市民の関心の高い訓練であったと思う。今年は松倉・上中島・上野方地区住民を中心に約700名が参加し、大地震を想定した訓練を行った。防災対策は市民の関心も高いので、これからも進めていかなければならないと意を新たにしたところである。

(3) 芸術・文化・スポーツの秋

地区住民運動会、魚津産業フェア〇〇魚津、棟方志功展、市民文化祭、市美展と多くの行事がある。

(4) 名誉市民推戴式

11/3に魚津市出身で元法務大臣の長勢甚遠氏を名誉市民に推戴する。市政功労表彰と合わせて行う。長勢氏もまだまだお元気であり、中尾名誉市民、桑山名誉市民とともに魚津市にご指導をいただける方が揃い、喜ばしいことである。

2. 質疑応答での市からの説明内容

「南魚沼市との友好都市協定締結について」

《記者からの質問》

友好都市協定締結に至った経緯と目的は？市民の交流計画は？

《回答》

NHK大河ドラマ「天地人」の登場人物直江兼続や上杉景勝は南魚沼市（旧六日町）が生誕の地であり、このドラマで魚津城が舞台となった場面もあったことから南魚沼市と魚津市は上杉との関わりが深いということで、歴史・文化面での交流を図ろうという話を市長間で進めていた。昨年は南魚沼市長が魚津市を訪問され、史跡めぐりなども体験していただいた。10月5日の南魚沼市合併10周年記念式典に合わせ協定締結の運びとなった。

商工部門ではすでに交流が始まっており、例えば南魚沼市の商工フェアのような催しで魚津の特産品の販売などを行った。議会間の交流も始まり、南魚沼市の雪まつりに招待を受けたこともある。

「千葉ロッテマリーンズ石川歩投手について」

《記者からの質問》

今日（10/1）登板予定。勝てば10勝となり新人王が有力視される。県出身プロ野球選手として初めての新人王となった場合、シーズンオフに帰省した時のイベントを検討されているのか？

《回答》

後援会が発足した時からそのような声を聞いている。新人王になったらニュース性も市民の関心も高くなると思う。シーズンオフには、例えば少年野球教室など何かできないか、球団とも協議しながら検討したい。

《質問》

後援会の会員数はどのくらいか？

《回答》

個人会員が118名、企業会員は3社。企業向けには今後勧誘の予定もある。

「棟方志功展について」

《記者からの質問》

この時期に棟方志功展を開催することになったきっかけは？

《回答》

JR魚津駅の所蔵作品をご寄附いただくことになったのがきっかけで、市所蔵作品とともに展示しようということになった。

「魚津駅構内JR貨物用地について」

《記者からの質問》

9月議会でもとりあげられていたが、JR貨物の用地は買収したのか？駅整備のスケジュールは？地鉄にも負担を求めるのか？

《回答》

長期間にわたり協議してきたが、今は譲渡の覚書の段階。事業実施にあたり都市

計画事業の認可を受けたいと考えており、手続等を考慮すると着工は早くても 29 年度を見込んでいる。地鉄の負担に関しては、電鉄魚津駅周辺を整備した時と同様の形がとれればと思う。